



2021年12月20日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニック
代表者名 代表取締役社長 福永 健司
(コード番号 2342 東証マザーズ)
問合せ先 取 締 役 船 橋 泰
(電話番号 03-6551-2601)

当社連結子会社の(株)安評センターにおける 超高感度 LC-MS の導入および分析サービス開始に関するお知らせ

当社連結子会社の[株式会社安評センター](#)（代表取締役社長：福永 健司、静岡県磐田市 以下、安評センター）は、医薬品や農薬などの低分子から高分子まで幅広く超高感度で定量分析する LC-MS/MS^{※1} 装置 XevoTQ-XS を導入し、2022年1月より試験受託を開始いたしますので、お知らせいたします。

安評センターは、CRO として主に医薬品、食品、食品添加物、農薬、飼料添加物、一般工業化学物質等の化学物質の安全性試験のサービス及び遺伝子改変動物の作製受託を提供しています。

このたび導入する LC-MS/MS 装置 XevoTQ-XS による分析サービス開始は、安全性試験の試験サンプル中のより低濃度成分の分析や、生体内の微量生理活性物質の測定の需要の高まりを受けたもので、創薬支援事業のサービス拡充の一環です。

このたび導入した機器は、常に変化する分析ニーズに1台のシステムで全て対応可能、かつ高い信頼性の超高感度定量が可能です。これらの仕様によって実現した超高感度定量分析能力が、神経伝達物質の定量や TK^{※2}、PK^{※3} のような試験において卓越したパフォーマンスを発揮いたします。

今後も、当社グループは、強固な財務基盤及び事業収支を背景に、更なる拡大成長に向け創薬支援事業における研究開発、設備投資及びM&Aへの積極的投資を推進し、事業拡大を図ってまいります。



LC-MS/MS 装置 XevoTQ-XS

- ◆ご参考：
- ※1 LC-MS/MS (Liquid Chromatography/Mass Spectrometry) 装置
LC-MS/MS 装置は、生体試料（血漿、血清、尿など）中の薬物を、高速液体クロマトグラフィー（HPLC）にて分離し、分離された物質を質量分析装置（MS）にてイオン化し分析する過程を2段階で行い、高精度で分子を同定するものです。
 - ※2 TK (toxicokinetics)
TK とは、医薬品開発の毒性試験で採決した血液サンプル中の薬物濃度を測定し、全身的曝露を評価することです。
 - ※3 PK (pharmacokinetics)
PK とは、薬物が投与された後の生体内で吸収、分布、代謝、排泄という一連の過程を経た体内薬物濃度（量）の推移を分析することです。

以上